

あいにくだより



食物アレルギー



食品の種類や個人によって違いはありますが、食物アレルギーの患者のうち、およそ半分は3、4歳ごろまでに食べられるようになります。そば、ピーナツ、えび、かになどのアレルギーや、反応するアレルゲンがいくつもある場合、アナフィラキシーを起こしたことがある場合などは耐性を獲得しにくい（食べられるようになりにくい）傾向があります。

食べられるようになりやすい



乳製品



小麦



卵



大豆

食べられるようになりにくい



ピーナツ



甲殻類



魚

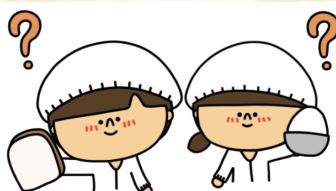


そば

家庭だけで食事をしている乳児のころと違い、幼児から学童期には保育所、幼稚園、学校などでの給食、お友だちの家でのおやつ、大勢での外食などいろいろな場所で食べ物を口にする機会が広がっていきます。食物アレルギー疾患である子ども自身にもアレルギーについて正しく話して聞かせ、周りの大人がしっかりと情報を共有することが必要になります。



子どもの食物アレルギーについて申請すると、保育所、幼稚園、学校では、食物アレルギーに配慮したおやつや給食を提供してくれます。食物アレルギーのことをきちんと伝えて、症状が出た場合の対処方法なども共有しておきましょう。

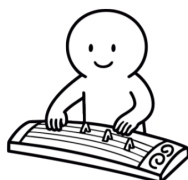


10月のわくわくサークルのお知らせ

日時

R8.10.28(水)
10:00~11:30

お琴と読み聞かせ



持ち物

お子さん用
のお茶

場所

西庄公民館
1階和室

愛育会のInstagram



坂出市愛育会